

令和六年度宮城県支部吟行句会成績

日時 令和六年九月二十一日(土)
会場 東北大学百周年記念会館

吉田千嘉子（本部選者）

特選 靄が靄生み城山のひえびえと

浅川 芳直

三太郎の小径をちこちこぼれ萩

川原友記子

秋霖や軒に道着の帯並ぶ

及川ななを

秀逸 キャンパスの何処も入口色鳥来

宮尾かほる

橡の実の落つる賢治の忌なりけり

鈴木わかば

軍馬の碑前へ前へと薄紅葉

菅原 京子

三太郎の道ふさぎたる葛の蔓

屋代ひろ子

秋雨を突つ切つて矢の飛びゆけり

篠沢 亜月

佳作 宮城野萩銀の雨粒こぼしけり

高宮 義治

秋草の迫り来る道扇坂

菊池ゆう子

山霧の動きて大地動きけり

玉井 瑛子

砂利道に橡の実拾ふ肩に雨

城出 栄子

城址へと秋冷の坂続きをり

小林 里子

ずぶ濡れの常長像に小鳥来る

高宮 義治

秋霖やあけぼの杉の烟たる

高村 龍彦

哲学の小径小暗き秋の声

高木 秀子

すべからく雫を宿し草の花

玉井 瑛子

空手部の朝の練習小鳥来る

高平 悦子

柏原眠雨特選

宮城野萩銀の雨粒こぼしけり

高宮 義治

二の堀へ落つる水音秋澄めり

屋代ひろ子

巽門跡雨の中なる虫の声

松本 眞澄

坂内佳禰特選

キャンパスの何処も入口色鳥来

宮野かほる

キャンパスの弓の句碑より秋の声

岡本 幸治

すべからく雫を宿し草の花

玉井 瑛子

小林里子特選

キャンパスの何処も入口色鳥来

宮野かほる

師を慕ふ魯迅の手紙秋の声

伊藤 一男

みちのくの旧帝大の乱れ萩

小野寺みち子

互選高得点

キャンパスの何処も入口色鳥来

宮野かほる

秋霖や心許なき手書き地図

渡辺 柊子

橡の実や哲学棟へ栗鼠走る

岡本 幸治

色変へぬ松三体の殉教碑

明石 峰雄

橡の実の落つる賢治の忌なりけり

鈴木わかば

石垣に槌の凹みや秋の蝶

遠藤 史都

秋霖の深きところに魯迅の碑

堀之内久子

秋雨を突つ切つて矢の飛びゆけり

篠沢 亜月